

令和 3 年度 事業報告

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

1 事業の推移について

当共済会は、昭和 48 年 4 月に業務を開始して以来 47 年を経過し、この間、8,171 人の退会者に対し、合計約 58.7 億円の給付金を支給してきている。

令和 4 年 3 月 31 日現在の加入口数は 7,858 口、給付準備積立金は約 13.4 億円となっている。

資産運用については、その都度、慎重に発行商品を見極めて効率的かつ安全な運用に努めているが、債券の買い替え更新に伴い、近年の金利低下を反映して全体の平均利回りは年々低位傾向で推移している。

2 3 年度における事業の概況について

(1) 前年に引き続き、新規加入と口数増加の勧誘を行うとともに、資産の効率的かつ安全な運用に努めた。

なお、債券、預金を合わせた全体の運用利回りは総平均で 1.16% になっている。

(2) 本年度の加入者数、加入口数の増減は次のとおりである。

	令和 3 年		令和 4 年	
	4 月 1 日	増	減	3 月 31 日
加入者数	1,870 人	116	138	1,848 人
加入口数	8,039 口	563	744	7,858 口

(3) 給付については、110 名の退会者に対して総額約 122.47 百万円の一時金を給付した。なお、年金の給付者はいない。

(4) 資産運用については、令和 3 年度においても全資産を債券により運用することを基本とした。